



第48回企画展

空の旅人

The Miracle of Migratory Birds

～渡り鳥の不思議～

2010年 3月13日(土)から 6月13日(日)まで

※3月13日(土)は、午後1時からの公開となります。

■開館時間 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

■休館日 毎週月曜日

※ただし、3月22日(月)は開館し、翌日が休館日となります。

※3月29日(月)は休まず開館し、振替休館はありません。

※ゴールデンウイーク中の4月29日(土)～5月5日(水)は開館し、5月6日(木)が休館日となります。

■入館料 大人 720円(580円)年間パスポート1,500円

高校・大学生 440円(300円)年間パスポート1,000円

小・中学生 140円(70円)年間パスポート 300円

※()内は20名以上の団体料金です。

※未就学児(満70歳以上の方)、障害者手帳をご持参の方は入館無料です。

※この料金には、本館内常設展・野外施設入場料が含まれています。

※毎週土曜日は、小・中・高校生は入館無料です。(ただし、春休み期間を除きます。)

※3月21日(春分の日)、5月4日(みどりの日)、6月5日(環境の日)は、サイエンスデー(無料入館日)です。

■主催 ミュージアムパーク茨城県自然博物館

■後援 (財)山階鳥類研究所・NHK水戸放送局・茨城新聞社

ミュージアムパーク茨城県自然博物館友の会

■記念行事 ●自然講座「渡り鳥の謎にせまる」3月13日(土)

●自然観察会「サンコウチョウを探しにいこう」5月15日(土)～16日(日)

●自然講座「田んぼに集まる旅鳥シンポジウム」6月5日(土)

※上記イベントは、すべて事前申込み制となっております。

■交通案内 ●車利用の場合

・常磐自動車道谷和原ICから20分

●鉄道・バス利用の場合

・つくばエクスプレス守谷駅下車～関東鉄道バス「岩井行き」

又は「猿島行き」乗車～「自然博物館入口」下車、徒歩5分

・JR柏駅から東武野田線乗り換え、愛宕駅下車～茨城急行バス

「岩井車庫行き」乗車～「自然博物館入口」下車、徒歩10分

■次回企画展のお知らせ

第49回企画展
「海藻がつくる海の森(仮称)」

2010年7月10日(土)～9月20日(月)



ミュージアムパーク

茨城県自然博物館

〒306-0622 茨城県坂東市大崎700番地 TEL.0297-38-2000
ホームページアドレス <http://www.nat.pref.ibaraki.jp/>



第48回企画展

空の旅人

The Miracle of Migratory Birds

～渡り鳥の不思議～

何 千km、何万kmにおよぶ渡り鳥の旅は多くの謎に包まれていましたが、これまでに積み上げられてきた研究成果や、近年飛躍的に進歩した人工衛星を利用した渡り鳥の追跡調査などにより、少しずつその謎が解き明かされてきています。一方で、森林や湿地の減少がおよぼす渡り鳥への影響が懸念され、ラムサール条約や各国間の協力など、国際的な視野に立った保全政策も進められています。

今回の企画展では、日本にみられる渡り鳥を中心に、その生態や特徴を紹介するとともにこれまでの研究成果を紹介し、渡り鳥の謎にせまります。また、渡り鳥のおかれている現状と保護への取り組み、国際的なネットワークづくりの重要性なども紹介します。



撮影:石井光美

提供:環境省

撮影:清棲保之

展示構成

第1部 渡りのメカニズム

季節ごとに移り変わる渡り鳥の素顔や渡りの種類、鳥のナビゲーションシステムなどを紹介します。

第2部 渡り鳥の生態

コハクチョウやオオヒシクイなど、日本でみられる代表的な渡り鳥の生態や渡りのようすなどを紹介します。

第3部 渡り鳥と人の関わり

カモ猟やバードストライク（鳥が建物などに衝突する事故）などを紹介し、渡り鳥と人との関わりについて模索します。

第4部 渡り鳥の保全と未来

渡り鳥を取りまく環境、渡り鳥保全への取り組みを紹介し、渡り鳥の未来を考えます。

■交通案内

● 車利用の場合

★常磐自動車道谷和原ICから20分

● 鉄道、バス利用の場合

★つくばエクスプレス守谷駅下車
↓
関東鉄道バス「岩井行き」又は「猿島行き」乗車

↓
「自然博物館入口」下車、徒歩5分
★JR柏駅から東武野田線乗り換え、愛宕駅下車
↓

茨城急行バス「岩井車庫行き」乗車
↓
「自然博物館入口」下車、徒歩10分

